

【取組内容⑤】「実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組等」

○自主勉強会の企画と開催

①教職員による自主勉強会「ICT Café美園南」運営支援

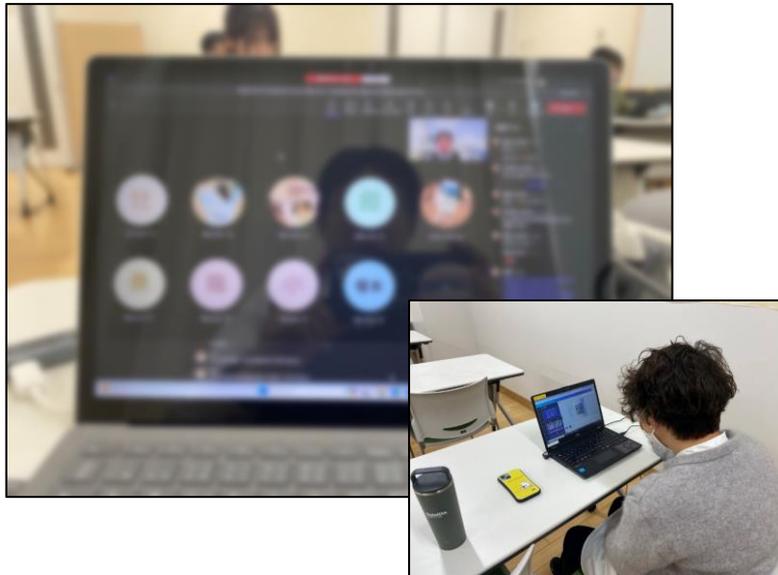
校内外の教職員を対象とした自主勉強会を年度当初に集中して6回、2学期には1回、3学期には2回主催し、オンラインと現地のハイブリット実施とすることで、さいたま市の教職員のスキルアップを図った。

- ・教室でのICT、Teamsの基本をマスターしよう！
- ・クラウド上の様々なツールをを授業で使ってみよう！
- ・クイズアプリを授業で使ってみよう！
- ・学習アプリを授業と家庭学習で活用しよう！
- ・自作テストでコンピュータ採点をしよう！
- ・AI機能を活用しよう（3回）

上記以外にも複数回自主的にオンラインで開催をし、累計300人以上の教職員が参加した。

②教職員用Teamsでの情報発信とエバンジェリスト研修の実施

さいたま市教育委員会のTeamsにおいて、積極的な情報発信及び各学校のICTリーダーであるエバンジェリストによる授業見学と研究協議を実施した。当日は100名を超える参加者が全学年全クラスの授業を見学し、研究協議会で意見交換をした。



○地域コミュニティの運営と活性化のための工夫

①MIEE（Microsoft Innovative Educator Expert）の育成

地域で率先して進めていくエバンジェリストを育成するため、2020年度には市内に1名しか認定されていなかったMIEE（Microsoft認定教育イノベーター）を増やし、168校7000人の教職員をけん引してもらうことを目指し、ICT活用に向けた活動の活性化のための工夫に取り組んだ。2022年度は本校教職員の8名の認定に加え、市内で合計20名の認定を受けることができ、2023年度はさらに活性化を図るための取組をおこなった。この認定を受けているうちの1名は、Microsoft Evangelist AWARD 2022を受賞し、その上位認定資格であるMIE Fellowの認定を受けることとなった。

②MELC（Microsoft Educator Local Community）の立ち上げと運営

上記のMIEEは教職員個人の活動を主としているため、個人の活動を組織的に支援するため、さいたま市MELCを立ち上げ、事務局を本校で担当することとした。